

発表内容

日時	発表者	発表テーマ
2/11 (水)	プロセスエンジニアリング部 Govind Murali	Revolutionizing e-Methanol Production Process : TOYO's g-Methanol™ Integrated SUPERHIDIC™ Innovative Energy Saving Distillation System
		<p>TOYO の e-メタノール製造技術 g-Methanol™ および高効率蒸留技術 SUPERHIDIC® の 2 つのコア技術をご紹介します。さらに、これらの技術を統合することで、低炭素かつ高いエネルギー効率を実現する e-メタノールの生産がどのように可能になるかを解説します。</p> <p>本統合プロセスは、将来的な船舶燃料として注目されるメタノールの利用に向け、FuelEU Maritime や IMO（国際海事機関）によって検討されている規制への適合が期待されるものです。</p> <p>FuelEU Maritime：欧州連合（EU）が、船舶で使用する燃料の脱炭素化の促進を目的として導入する規制。</p> <p>欧州委員会 FuelEU Maritime HP : <https://transport.ec.europa.eu/transport-modes/maritime/decarbonising-maritime-transport-fueleu-maritime_en></p>
2/11 (水)	プロセスエンジニアリング部 國井 洋雄	Toward Carbon-Neutral Urea Production: A Comprehensive Evaluation of g-Urea™ Complex
		<p>TOYO のカーボンニュートラル尿素製造プロセス「g-Urea™」について、化石燃料由来の従来尿素と g-Urea™ の経済性比較・分析、グリーンアンモニアプラントを含む尿素製造コンプレックス全体のエネルギーバランスを紹介し、さらに社会実装に向けた展望を提示します。また、g-Urea による欧州規制 CBAM への対応についても考察します。</p> <p>g-Urea™： グリーンアンモニアや DAC(Direct Air Capture) 由来 CO₂などのカーボンニュートラル原料と再生可能エネルギーを活用した尿素製造プロセス。</p> <p>CBAM（Carbon Border Adjustment Mechanism）： EU 排出量取引制度（EU ETS）に基づいて EU 域内で生産される対象</p>

		<p>製品に課される炭素価格に対応した価格を域外から輸入される対象製品に課す制度。2023 年 10 月からの移行期間を経て、2026 年 1 月より本格適用。</p> <p>欧州委員会 CBAM HP: <https://taxation-customs.ec.europa.eu/carbon-border-adjustment-mechanism_en></p>
--	--	--